

余市町地方創生総合戦略（令和7年度～令和11年度の5年間）

※令和8年9月 計画名称変更

（旧：余市町デジタル田園都市構想総合戦略）

《地域ビジョン》

自然と産業が共存し、未来へつなぐ、誰もが住みやすく訪れたいまち よいち

基本目標	方向性	成果目標	主な施策	K P I 《重要業績評価指標》
1 余市町の強みを生かした産業を振興し、雇用の創出や将来の担い手を確保する	地域資源を最大限に活用し、新たな産業を育成するとともに、既存産業の競争力を強化することで地域経済の持続可能性を高める。これにより、若者や移住者を含めた多様な雇用機会を創出し、地域内の所得向上や生活水準の向上を図る。また、地域ブランドを強化し、国内外に向けて余市町の魅力を発信することで、さらなる投資や人材の流入を促進する。	策定期間における町内の創業・起業件数…40件	- 金融機関や商工会議所等の関係機関と連携した創業・起業支援 - 町内高校生による地域課題解決に向けた取組 - 新規就農活動支援センターをはじめとした、第一次産業への就業促進の取組強化 - ワイン産業の裾野の拡大	- 起業・創業に関する各種補助制度の利用件数…20件 - 町内高校生による地域課題解決に向けた取組による提案…5件 - 青年等就農計画の新規認定件数…15件 - 生産者等による新たな業態への取組件数…8件
2 ひとの流れをつくり、余市町に住みたい、関わりたいという希望をかなえる	移住・定住支援を通じて、地域に新たな人口流入を促し、地域社会の持続可能性を確保する。また、多様な人々の交流を活性化させることで、地域の文化的・経済的価値を向上させる。さらに、移住者や観光客に対して魅力的な住環境と地域体験を提供することで、余市町を「住んでみたい」「訪れたい」と思わせる地域へと進化させる。	策定期間における転入者数…3,500人	- 移住窓口のワンストップ化によるサポート体制の充実 - 住宅取得等支援の充実による移住促進及び町内居住者の定住促進 - ワインを核とした観光の推進による札幌圏・ニセコ圏からのインバウンドを含んだ来訪者数の獲得 - ふるさと納税事業の拡充による、関係人口の増加	- 移住相談窓口への相談件数…30件 - 住宅取得等支援利用件数…75件 - 年間観光入込数の増加…10万人 - ふるさと納税の寄附金額の増加…前年度比プラス10%
3 町民すべてが安心して暮らしたり子育てができる余市町をつくる	住民が安心して暮らせる安全で快適な生活環境を整備し、地域全体で災害や高齢化に対応できる仕組みを構築する。また、子育て支援や公共サービスの充実を通じて、全世代にとって住みやすい地域社会を実現する。さらに、災害への備えやコミュニティの結束を強化することで、住民が相互に支え合い、安心感を持てる地域を作り上げる。	策定期間における合計特殊出生率の平均…1.6	- 少子化、核家族化により子育てに孤立感や不安を感じている保護者への支援 - 母子保健事業の充実による、安全なお産が迎えられるためのきめ細かな支援 - 公共交通網の再編や公共施設等の適正な管理による暮らしやすいまちづくりの実現 - 町民の防災意識高揚のため、各種災害訓練や講習会・学習会等を実施	- 地域子育て支援拠点事業の利用率の増加…17% - 妊娠届出件数…380件 - 町内バス路線の利用者…22,000人 - 区会等への各種災害訓練や講習会・学習会等の開催回数…21回
4 広域連携や官民協働を推進し、将来につながる余市町をつくる	地域課題の解決に向けて、行政と民間企業、地域住民が連携する仕組みを強化し、広域連携による地域全体の活性化を図る。また、DXの導入を通じて効率的な行政運営を実現する。さらに、他自治体や民間団体とのパートナーシップを深めることで、新たなビジネス機会を創出し、地域の経済基盤を強化する。同時に、住民の声を反映させた政策形成を進め、地域全体での合意形成を促進する。	策定期間における官民協働・広域連携の新たな取組件数…30件	- 他自治体との共同事業や交流事業による広域連携の推進 - 民間資金の活用や協定等による官民協働の推進 - 庁舎内外へ未来技術を導入し、業務効率化や人手不足等の課題を解決 - 地域おこし協力隊や各種制度を通じた外部人材の活用による課題解決	- 他自治体と連携した取組件数…20件 - 官民協働の新たな取組件数…3件 - 庁舎内外への未来技術の導入件数…3件 - 外部人材を活用した新たな取組件数…10件